

平成29年度 社会福祉法人池田芽ばえ福祉会事業報告書

1. 東山作業所（生活介護）事業報告

➤ 基本方針

法人基本理念である「障がいのある人を一人の人間として尊厳を重んじる」「本人の意向を大切にし、その人らしい生き方ができるように支援する」「地域で充実した暮らしができるように支援する」「地域生活の大切さを社会へ伝えるパイプ役になるように努める」を基本方針とし5つの班編成による個々のニーズを大切にしたいきめ細かな支援を行いました。

➤ 事業内容

日中生活を安心して過ごせるように生産活動を中心に日常生活上の支援及び余暇、創作活動、レクリエーション活動等を提供しました。

➤ 利用状況の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数(日)	19	20	22	20	19	20	21	20	19	18	19	21
延利用者数(人)	950	1023	1128	1023	956	1027	1072	1000	976	907	939	1014
1日平均利用者数(人)	50	51.2	51.3	51.2	50.3	51.4	51.0	50	51.4	50.4	49.4	48.3
月平均利用率(%) (1日平均利用者/定員)	94.3	96.6	96.8	96.6	94.9	97.0	96.2	94.3	97.0	95.1	93.2	91.1

※少数第2四捨五入 平均年齢 42.2歳(平成30年3月31日現在)

➤ 利用者支援の実績

(A B班)

個別支援計画をもとに支援目標やニーズ及び常に観察することを忘れずにきめ細かな支援をすることを心がけました。社会参加や地域交流、色々な体験の選択肢や機会を設け、自己決定、意思決定を取り入れるよう努めました。年々、利用者の高齢化に伴う機能面の低下を常に意識した支援が必要になっていきます。また、特別食の見直し、誤嚥や早食へ対策、歯の治療、口腔ケアも家族との相談を含めて検討、対応してきました。今後も利用者の体調面の変化に留意し、看護師、嘱託医など連携を図りながら日々の健康サポートに努めていきます。

➤ 生産活動支援

受託加工をしている作業の中から、関わる事が出来る工程の作業をしました。

また、その材料や完成品を所内運搬することによって生産活動中心グループとの関わりも持てました。A班においては100円商品加工で「まな板シート」の袋入れの補助、袋のシールはがしやセットに取り組みました。生産活動の場を一部、2階へ移してタオル折りを行うなど普段と違った環境で行うことでより緊張感、集中度を高めることも出来ました。他にゴム並べ及び検品、電線通しやさをり製品の検品など利用者の適性を見ながら取り組みました。またペットボトルキャップ関連の作業につきましては、一年を通じ、回収から仕分けを中心的に行い、仕分けの確実性など各自、スキルアッ

プしています。EMボカシ（自主製作品）の生産は定期的に行い、主にとよのピアで販売し、在庫の把握、納品に努めました。又、とよのピアを通じて、大口の注文が入り、閑散期になる冬場においても生産活動が止まることなく行えました。

B班においては、午前、午後とも生産活動に従事し、お菓子の袋詰め、ゴムの袋入れを中心に行いました。ゴムの点検の作業に関しては、主にゴムを点検しやすいようにゴムをプレートに並べる工程を行いました。委託業者から複数の種類のゴムの点検を更に受け、不良の仕分け、異種のゴム混在に課題は残っていますが、自助具の工夫で作業幅が増え、利用者の意欲につながっています。個々のペースを重視し、メリハリのついた生産活動に取り組みました。

A B班とも各自適性を見ながら環境を整えていくことで個々のレベルの向上が徐々に見られるようになりました。

▶ お楽しみの日・所外活動

A・B班とも調理や外出、外食など、気分転換と色々な体験の機会としました。

◇お楽しみの日（月1回）

	A 班	B 班
4月	花見&新入所者歓迎会	カラオケ or ドラゴン公園散策
5月	パフェ作り	1日お楽しみの日 「天王寺動物園」
6月	1日お楽しみの日 「パントリー-青少年科学館・アジックスミュージアム」	製作パズル
7月	ミニプール&流しそうめん	ミニプール&流しそうめん
8月	ミニプール&すいかパフェ	七味作り
9月	所外活動「NHK放送局・大阪歴史博物館」	所外活動「マリニピア神戸・さかなの学校」
10月	ポテトチップス作り	道の駅「いながわ」
11月	一庫公園	カレンダー製作
12月	クリスマス会	釣り堀体験
1月	米粉ホットケーキ作り	恵比寿さん初詣&買い物
2月	外食「焼肉特急」	図書館
3月	お疲れさま会	お疲れさま会

▶ 月一喫茶

店番をする側、および準備する側に立つことにより、自信とやりがいを持てるように支援しました。開店前の宣伝に関わったり、お金の受け渡しは、おつりの計算の勉強になっております。お客さんに対し、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と大きな声で言える方も増えております。メニュー立案は、利用者の意見を聴きながら行っております。新しい情報を得ながら、喜ばれる内容を今後も考えていきます。

◇月1喫茶内容

4月	和菓子	10月	さつま芋のお菓子&ジュース
5月	カステラ&ジュース	11月	洋菓子&紅茶

6月	フルーツゼリー	12月	シュークリーム&コーヒー
7月	アイスクリーム	1月	お菓子&温かい飲み物
8月	アイスゼリースカッシュ	2月	チョコレート&温かい飲み物
9月	豆乳フレッシュジュース	3月	ひなあられ&ジュース

➤ ゆとりの時間

ゆとりの時間では、毎週金曜日の午後、リラックスしてもらうことを基本に、音楽活動やビデオ鑑賞、マットリラックス、製作活動などを行いました。月1回ずつ来ていただいている音楽療法の活動は、利用者の楽しみの一つとなっています。主にハンドベル、歌の練習をAB班合同で行っています。

練習の成果を発表する機会として今回は、市民のつどいのオープニングイベントに出演しました。自信や達成感が得られる良い機会になりました。

また、A班・B班お互いの良き交流の場となっています。

《内 容》

カラオケ・DVD鑑賞、イントロクイズ大会、マットリラックス昼寝、レクリエーション大会、音楽療法、製作「コラージュ」、音楽鑑賞会、プラバン作り、TVゲーム、ビーチバレーボール、カラオケ、グランドゴルフ、製作「苔玉アート」、クリスマリース作り、カードゲーム、カルタ&坊主めくり、メガボール、アロマ&絵本など

➤ ほんわかタイム

ほんわかタイムは、曜日ごとに製作や園芸、生活、運動、娯楽、DVD・パソコンや音楽鑑賞などの内容を展開しました。利用者の個々のレベルでの習熟と集中力の向上が感じられました。またリラクゼーションの機会にもなっています。

《内 容》

塗り絵、パズル、国語、算数、英語や社会の問題、ゲーム、パソコン、カレンダー製作など

➤ 生活支援プログラム

生活支援プログラムにおいては、今年度も一年を通じて所内の洗濯作業の一部を担い、干し、取り入れ、たたみと一連の活動に努めました。関わる方が増え、定着したプログラムになっております。

➤ ウォーキング

A班においては、体力の維持向上を目指しほぼ全員がウォーキングに行くことが出来ました。その日の体調や体力面を考えて、個々のペースで取り組みました。毎週金曜日は、普段より長めのコースを設定し長距離ウォーキングとして実施しました。

B班においても歩くペース別に分け、距離、速さを考慮して歩きました。早く歩く組の方たちは、体力増進を目的に、ゆっくりペースの方たちは、歩きながら草花の観察を行い、季節の変化を感じながら歩くことが出来ました。

➤ 歩行訓練・リハビリ体操（所内運搬・階段昇降など）

生産的活動及び歩行訓練を兼ねて、所内の運搬をしました。

リハビリ体操においては、理学療法士の助言のもと随時、取り組みました。また、食事前は、嚥下

体操、終わりの会では、A B班ともストレッチ体操を実施しました。

➤ 園芸活動

駐車場や所内のミニ畑に野菜を植え収穫しました。今年度はトマト、キュウリ、ゴーヤ、大根を植え、成長の鑑賞と収穫の喜びを感じ、所内外での野菜販売にも貢献しました。春先から秋まで、草抜き、肥料まき、水やり、収穫において役割を持って行うことが出来ました。今年も緑のカーテン作りとして、ゴーヤ栽培をしました。

➤ 納品や通信の配達

所外にも積極的に出かけることにより、マナーや社会性を養うことに努めました。
とよのピアやみどりの郷、インクカートリッジ、ペットボトルキャップの回収に出かけました。それぞれの役割意識の向上、地域の人と関わることで良き地域交流となっています。

➤ 絵本・紙芝居活動

絵本や紙芝居を準備、進行、片付けの役割を決め、読み聞かせにより、情緒の安定を図りました。
全体紙芝居は1日の終盤での活動で、良きリラックス出来る場となっています。また、返却と借用時には自己決定の機会となっています。

➤ 朝の会・終わりの会（設定学習）

見通しが持てるように事前支援や再確認するための事後支援、情報の共有化のため行事や所外活動時の報告会の実施を励行しました。学習面や連絡事項では、図解などで視覚的要素を取り入れて理解を深めることに努めました。

➤ 地域清掃の日

気候をみながらA班、B班とも作業所周辺歩道の清掃を行いました。

➤ その他

掃除係など役割分担を決めての活動をしました。掃除についてB班は作業終了後、それぞれの役割場所を丁寧に取り組んでいます。A班は、主に活動部屋を中心に組みめるメンバーで実施しています。また、日替わりで1階休憩室の掃除機掛けを職員と行いました。朝の会で分担を決める際、積極的に手を挙げられる方もおられます。

今後もそれぞれのニーズに応えられるよう、利用者本人はもちろん、家庭との連絡を密にとりながら取り組んでいきたいと考えています。

(CDE班)

個別支援計画書作成にあたり家族や本人のニーズの聞き取り、また日中生活の中で掘り起こしをしながら多様なニーズに対応できるように家庭、地域生活支援センター、各事業所との連携のもと社会資源を利用することにより生活の質を高められるように支援しています。

近年、生活面で体調の変化、健康に配慮した活動が必要です。

29年度も個別対応のニーズに沿い、生産活動のみではなく日課に変化をつけ、環境を整えました。

その他にも必要に応じて班ごとにストレッチ体操、ウォーキングを日課メニューとしています。

▶ 生産活動支援

生産活動全般では衛生面に留意しマスク着用、作業帽を着用しています。

紙製品組み立てには手袋着用し不良につながらないように説明しています。

今年度より池田市より土嚢作成業務を委託され、作成機を使用し活動し始めました。

高架下での作業なので、雨天時も活動でき体力に応じて関わることができました。

池田市指定ゴミ袋の宅配業務も行っています。利用者が出向き挨拶をはじめ仕事としての意識も高まってきています。

《自主製作品》

さをり織り、手漉き紙、手作り品、を商品化し販売促進に努めています。

さをり織りについては池田市より記念品として取り扱っていただき収入源となっています。

《仕入品》

焼き菓子を仕入れ、近隣の高齢者事業所への外販で自主製作品や食品をコンスタントに販売できました。

他にそうめん、芋けんぴを仕入れ販売することにより収益となっています。

【施設外販売活動】

《とよのピア販売員担当》

月2回の販売担当を担っています。

個々の適性により役割を分担し、業務習得の支援を行いました。

単独で昼食を摂りに行くなど自立にもつながっています。

【生活支援】

《健康管理》

高齢に伴う生活習慣病予防、肥満傾向の改善が課題です。日中での体調に留意しました。情緒面も含めた体調の変化に気づき家庭やケアホーム、嘱託医、看護師と連携して異常を早期に見つけていくことが必須です。

看護師、理学療法士へ日々の体調、体の痛みなどの相談がしやすくなり家族へも専門家としての所見を報告し医療へつなげることができました。

《利用者活動》

月1回の利用者会議（21世紀会議）では、意見の表明や理解の難しい利用者に対する選択、決定への支援を行いました。その月の予定や変更事項など連絡する機会とし見通しをもって活動できるように支援しました。

月1回の余暇的な活動（太陽会）として半日外出、買い物、スポーツ、見学、文化活動などを実施しました。

《個別支援計画》

個別支援計画の作成に基づいた支援の実施について支援計画が形骸化しないように毎月1回のミーティングで確認しながら実践しました。

年2回モニタリング評価、総括としてケアプランの実施状況など見直しを行い、利用者家族面談を実施しました。

長欠者には必要に応じて連絡をとり、家庭訪問、面談、個別送迎を実施しました。

《職員間連携》

受託作業種が多種多様にわたるため、職員間の連携のもと、利用者の適性に応じた分担の配置を行っています。

納期や検品、仕上げの手順、チェックポイントを共有しました。作業仕様書の整備と明確な伝達が継続課題です。

支援については班ミーティングで個別報告をしながら担当支援員のみではなく担当外でも共通の認識として支援できるようにしました。

《他機関との連携》

気分不安定さや行動面の執着心などある際には家庭への連絡、心療内科受診時の報告を行ったり、通院同行し助言を仰ぎながら支援をすすめています。

《太陽会（余暇支援）実施状況》

	C 班	D 班	E 班
4月	新入所者歓迎会（作業所芝生）		
5月	1日太陽会 選択：コンパイトミュージアム&江見印刷紙工株式会社の見学 ・ 明治ヨーグルト館と二色浜公園散策		
6月	喫茶「あおぞら」	カラオケ	外食「源平」
7月	プラネリウム鑑賞（伊丹市）	買い物・喫茶（昆陽付近）	買い物・喫茶（猪名川付近）
8月	選択：そうめん流し（豊能町 旅館「美和」） ・ 調理（冷たいデザート）		
9月	外食と散策 （和みだ仁が「森のくまさん」）	伊丹スカイパーク散策	映画鑑賞 「ナミヤ雑貨店の奇蹟」
10月	なし		
11月	選択：五月山動物園 ・ 万博記念公園「紅葉狩り」		
12月	合同忘年会 外食「田まい」		
1月	カラオケ	ダーツ	カラオケ
2月	選択：手塚治虫記念館 ・ オープン陶土で陶芸		
3月	合同納会「お疲れさん会」 芝生にてバーベキュー&青空カラオケ・ビンゴ		

《リラックスタイム》

班に関係なくリラックスタイムとしてニーズに応じて3チームに分かれ週1回作業を離れてウォーキングや製作活動を取り入れています。

➤ 第15回東山作業所まつり

10月28日(土)に東山作業所において、地域交流、施設開放の一環として東山作業所まつりを実施しました。太鼓集団の演奏、一輪車、利用者発表などのステージ、やきそば、フランクなどの模擬店、輪投げやぷよたますくい等の催しものがありました。また自主製作品販売に加え今年も「東北・九州物産コーナー」も設け復興支援の一助としました。

➤ 苦情解決・サービス向上について

要望等については数件ありましたが、迅速に対応、回答することに努めました。他害による利用者支援対策が急務となっています。(受傷による外科受診も増えました。)

ヒヤリハットについては単純な当所側のミスというケースもあり、情報・認識の共有、周知徹底を図り、第三者委員にも報告し助言をいただいています。

➤ 防災について

当事業所は余野川による洪水で危険区域となっているため、1階の利用者が2階への水害避難訓練を2回実施しました。担架や車椅子の使用、備品準備など実施後の振り返り、検討課題もみえてきました。

➤ 職員研修について

*所内研修(3回)

「人権啓発・虐待防止」2回、「防災 水害時の避難方法」2回「感染症対策」の5回実施しました。全職員の情報共有と連携の強化、各意識の強化と実際の技法習得などを目的としました。

*所外研修(13回)

感染症、地域貢献事業、サービスマナー、などについて学びました。

➤ 車両安全運行計画

送迎サービスを安全、安心して利用して頂くため、職員に安全運転意識を向上させること。また、非常時に迅速な対応がとれるようにマニュアル整備などを行いました。

整備管理者を選任し必要な点検整備の把握に努めています。

2. 東山作業所運営状況報告(別紙1参照)

3. 経過

平成29年 5月18日 監事会開催

平成28年度事業報告・各会計決算報告

6月 5日 第1回理事会開催

平成28年度事業報告、各会計決算及び監査報告、定時評議員会の招集、新役員候補者推薦の提案

6月26日 定時評議員会開催

平成28年度事業報告、各会計決算及び監査報告、新役員の選任、役員及び評議員の報酬等支給基準

10月28日 第15回 東山作業所まつり

平成30年 3月14日 第2回理事会開催

経理規則一部改正、常勤職員就業規則一部改正、常勤職員給与規則一部改正、非常勤職員就業規則一部改正、非常勤職員賃金規則一部改正、パートタイム就業規則制定、パートタイム賃金規則制定、第1回補正予算、役員辞任による役員候補者の推薦、施設長（管理者）選任、平成30年度事業計画・各会計予算、評議員会の招集